

「令和 5 年度 特級ボイラー技士試験公表問題・解答・解説」正誤表

下記の通り、誤記がありましたので謹んで訂正いたします。誠に申し訳ございません。

頁	訂正箇所	誤	正
47	下（↓）から 5, 8, 11 行目	Δt_{msa}	Δt_{msr}
78	上（↑）から 4 行目	D : 正しい 亜硫酸塩系脱酸素剤は、約 280℃以上で熱分解し、硫酸ナトリウム（ Na_2SO_4 ）や二酸化硫黄（ SO_2 ）を発生し、腹水pHの低下や腐食の因子となる。このため蒸気圧力 5.0MPa 以上のボイラーでの使用は避けるべきである。	D : 正しい 給水中の溶存酸素は、金属材料を腐食させる主な不純物である。一方、銅表面に薄い、ち密な難溶性の酸化鉄（ヘマタイトなど）の被膜を保持する目的で、高純度な給水中に微量の酸素を溶存させる酸素処理がある。
106	↑ 4 行目	規格	規則
114	参照箇所	規則	規格

115	参照箇所	規則	規格
117	参照箇所	規則	規格
118	参照箇所	規則	規格
120	参照箇所	規格	規則
121	参照箇所	規格	規則